

ヨコトリツ!

横浜トリエンナーレサポーター Hama-Treats!'s フリーペーパー Yoko-Treats!

Oct.2016

THE SECOND SEASON Vol.01
[通巻13号]

シン・ヨコトリツ! 始動。



Courtesy of Silhouette Design <http://kage-design.com/>

「ヨコトリツ! (Yoko-Treats!)」は、「横浜トリエンナーレ」を応援し一緒に盛り上げる活動を行うサポーター「ハマトリツ!」による手作りのフリーペーパーです。「トリツ/Treats」には、「思わぬ喜び、とてもいいもの」という意味があります。横浜のいいもの、楽しいものをお伝えしたい! ということで名付けました。ハロウィンの決まり文句「Trick or Treat!」(「トリックオアトリート」=お菓子をくれないキッズラズをするぞ!)から連想して、みんながワクワクするような情報交換の場を目指します。

ヨコハマトリエンナーレ2017「島と星座とガラパゴス」
会期: 2017年8月4日(金)~11月5日(日) ※第2・4木曜日休場 | 主会場: 横浜美術館/
横浜赤レンガ倉庫1号館 | 公式Webサイト: <http://www.yokohamatriennale.jp/>

Hama-Treats!
ハマトリツ!

ヨコトリツ!

INFORMATION

THE SECOND SEASON Vol.01

横浜トリエンナーレ・グッズ「ヨコトリ」再販開始!

ヨコハマトリエンナーレ2014の応援グッズとして大好評を博した、アーティスト・安部泰輔氏の「ヨコトリ」が装いを新たに帰ってきました! 「ヨコトリ」は、横を向いたトリ=「ヨコトリ」をモチーフにした布製のバッジです。再販にあたり、基本デザインに変更を加えて強度を高めた他、タグもリニューアル。また、金額も500円(税込)とし、ワンコインでお求めいただけるようになりました。お気に入りの一羽を見つけて、お出かけのお供に是非どうぞ!
(横浜トリエンナーレWEBサイトより)



販売場所: 横浜美術館ミュージアムショップ
【営業時間】 10:00 - 18:00 【休業日】 木曜日・年末年始

横浜で買った「ヨコトリ」を身につけた人が全国、全世界に散らばる。また、その写真がSNSで拡散する。そして「これは何?」から新しいコミュニケーションが始まる。安部泰輔氏の「作品」は、この小さなバッジにとどまらず、バッジを介したコミュニケーションが世界に広がっている、そんな姿のようです。

ヨコトリツ! 読者の声大募集

ヨコトリツ! では、新しい企画として「読者の声」コーナーを設けることを計画しています。皆さんの声を紙面作りを生かしたいと考えています。ぜひご意見ご感想をお寄せください。いただいたご意見ご感想は、一部を紙面、Webへ掲載させていただきます。

「読者の声」投稿ページはこちらから。

【Web】 <http://bitly/readers-voice>

投稿ページは暗号化通信を用いていますのでセキュリティ上の心配はありません。

【メール】 yokotreats-editors@googlegroups.com

ご意見に加え、ペンネーム、性別、年代をご記載いただければあわせて掲載します。

QRコードからも投稿ページをご覧ください。



横浜トリエンナーレサポーターHama-Treats!'s フリーペーパー「ヨコトリツ!」 THE SECOND SEASON Vol.01 [通巻13号]
●企画・編集: 横浜トリエンナーレサポーターハマトリツ! 情報発信(青木邦彦 / 上田良寛 / 木村彰 / 巽知代 / 平本晶子)
●カバーアート: 上田良寛 ●発行日: 2016年10月16日 ●発行元・お問合せ: 横浜トリエンナーレサポーター事務局 [横浜市西区みなとみらい3丁目4-1 横浜美術館 横浜トリエンナーレ組織委員会事務局内 TEL: 045-228-7816 MAIL: info@yokotorisup.com] ●ハマトリツ! (横浜トリエンナーレサポーター) 公式WEBサイト: <http://www.yokotorisup.com>

次号予告 **ヨコトリ2017の姿が次第に明らかに!** 2017年1月発行予定

ヨコトリツ!

REPORT

THE SECOND SEASON Vol.01

「遠足」グループ

遠足グループでは、ハマトリツ! 同士や他の芸術祭のサポーターなど、人と人との「交流」をテーマに日本各地で行われる芸術祭を訪ねます。今回取り上げられているあいちトリエンナーレへの遠足ではみんなで出かけて、開催地のあいちの皆さんをはじめ各地のサポーターと交流し、ヨコトリ2017へ向けて全国的な(?) 盛り上がり画策中。旅好き、人好き、祭り好きな新メンバーいつでもお待ちしております!(北野)



全国芸術祭サポーターズミーティングinあいち 撮影: 水野晶彦

「観る・学ぶ」グループ

わたしたちは、横浜トリエンナーレに来てくださったお客さまに作品をより深く・より楽しんでいただきたい! という想いのもと活動を行っています。ヨコトリ2017会期中に作品や作家を紹介する活動や、現代アートに親しむツールを提供したり、作品の感想を共有する場をつくることを目標に、現在はさまざまなトークイベントやガイドツアーに参加してノウハウを学んでいます。現代アートが好きな方・知りたい方、絶賛募集中です!(高砂)



ハマトリツ! 自主活動のご紹介

2017年に開催されるヨコハマトリエンナーレ2017に向け、ハマトリツ! は「交」、「観」、「繋」、「支」という4つのテーマのもとで生まれた6つのグループ単位で自主活動を進めています。それぞれのグループのメンバーが、どのような取組を進めているか、ご紹介いたします!

★ハマトリツ! は毎月1回(主に第3日曜日)、横浜美術館8階に集まって活動しています。気になる活動をハマトリツ! 公式ウェブサイトでチェック!

「時をかけるヨコハマ」グループ

見えるものを対象にする路上観察。見えないものに加え、一つのキーワードに沿って横浜の歴史と現状を切り取る四次元的路上観察。例えばキーワード「ブラフ」。西洋人は切り立つ崖とその上の台地を指し、旧山手居留地と同義です。擁壁、排水溝などにブラフの名を残し、他にもブラフから全国に広まったものは多々あります。観察結果を基に横浜を知って頂く案内書などを制作します。一緒にお客様をおもてなしする準備をしませんか。(深野)



「情報発信」グループ

情報発信グループは、このフリーペーパーが事実上のデビュー作、の生まれたてホヤホヤのグループです。フリーペーパーだけでなくWebサイトも活用して、サポーターや市民の皆さんと、横浜トリエンナーレを繋ぐ情報発信をしています。記事やイラストを書く(描く)のが得意な方、色々と取材を試みたい方、なんとなく興味がある方など、新メンバー絶賛募集中。We are waiting for you to join us! (青木)



「アートアクセシビリティ」グループ

アートアクセシビリティでは、横浜トリエンナーレに足を運びにくい方々が、より来場しやすく、またより楽しめるよう、活動を進めています。当グループの前身は、昨年4月にゼミ活動として発足し、視覚障がい者向けのプログラムを検討してきました。

今年度からは、対象もより広めて、聴覚障がい者や足の不自由な方や養護学校の児童なども含め対応を検討しています。もし、ご興味のある方は、お気軽にお声掛けください(^ω^)/ (脇川)



グループ内での真っ暗闇体験。手の触覚を頼りに作成。

「活動支援」グループ

「支」のあしたはどっちだ 「サポーターがサポーターを支える/支えられる」ってどういうこと? もはや意味がわからない命題に我々は挑んでいきます。手始めに「(仮)人材バンク」。あらゆるサポーター活動にみなさんのチカラを発揮していただくという取り組みをつくりまします。続いて様々な企画を打ち出していきます! どこにしたらいいか迷う~、いろいろな人達と関わって活動してみたい! というそのあなた! 一緒に活動しませんか? ☆キラッ (久地岡)



ふたたび「あいちトリエンナーレに遠足だ！」

8月27日(土)～28日(日)、ハマトリーツ! 遠足グループの遠足企画「あいちトリエンナーレ2016へ行こう!」に参加してきました。今回の遠足は、「全国芸術祭サポーターズミーティングinあいち」への参加という大きな目的もあります。サポーターとして学んだこと感じたことをレポートします。思えばヨコハマトリエンナーレ2014へ向けたサポーター活動の最初の大きなイベントも2013年の「あいちトリエンナーレ遠足」でした。それは「ヨコトリーツ!」創刊号の特集でもあったのです。そして今、ヨコハマトリエンナーレ2017へ向けた活動もまた、「あいちトリエンナーレ遠足」と、今号の「ヨコトリーツ!」から始まります。(上田)

①愛知芸術文化センター

最初はメイン会場の愛知芸術文化センター。ボランティアのガイドについていただき、2時間かけて会場を回りました。あいちトリエンナーレのガイドは、通常は対話型で、お客様に質問し、回答を聞いてまとめるスタイルをとっているそうです。コンセプト、メッセージが重要な現代美術において、適切な質問は難しいですが、単に説明を聞くより、アクティブな鑑賞になると感じました。

②ウィルあいち

8月27日午後は「全国芸術祭サポーターズミーティングinあいち」でした。欄外のリポートをごらんください。

③長者町会場

ここは街中の複数のビルに会場が展開されています。ビルの側面を使った2010年の作品なども残っていて、それを眺めながら次の会場に移動しました。黄金町バザールも同じ形態ですが、一つ一つの作品は長者町のほうが大きいものが多く、制作が現在進行形で行われているもの、レクチャーシリーズ、実験的なプロジェクト、地元アーティストの作品展示など、愛知芸術文化センターとは異なった魅力があります。

④懇親会

名古屋名物・手羽先で有名な居酒屋「世界の山ちゃん」で懇親会が行われました。芸達者なボランティアさんが場を盛り上げます。アーティストもいました。みんなて歌まで歌ったりして、横浜では見られないノリに圧倒されました。



写真左：アート作品への協力を呼びかけたらみんなで記者会見風に仕立てられたうらあやかさん、右：手羽先原人(アーティスト)



⑤岡崎地区

岡崎地区は長者町と同様、展示会場が散在しています。我々は主に徒歩のツアーでしたが、個人で行く場合は無料のレンタサイクルがおすすめです。駅ビルの会場、康生町の会場、共に商業施設ですが、空いている上層階を使った展示になっています。空間を大胆に使ったインスタレーションはトリエンナーレらしいものと言えます。



勝又公仁彦
《Untitled / This City - moving around》
(岡崎・康生会場)

⑥豊橋地区

開発ビルはもともとシアター等があったビルですが、その機能が新しい施設「穂の国とよはし芸術劇場PLAT」に移ったため、展示はこれまでのフロアレイアウトを残した形で行われています。特に石田尚志の展示は、旧シアターフロアにあり、動線が楽屋→ステージ→客席という風に設計されていて、作品が生まれてから観客に流れるまでをイメージしているように思いました。



石田尚志作品展示(豊橋・開発ビル)

ジモティーコラム

「名古屋がめっちゃ好きだがや〜!!」

名古屋の紹介ということで、愛知県出身の私が個人的なおススメとして、きしめんについて語ります。駅のホームにあるファストフードの定番といえば、立ち食いそばかうどんですよね?



しかし名古屋の場合は立ち食いきしめんなんです!!

今回は名古屋JRの新幹線や在来線ホームならどこでもある某立ち食いきしめん店の都市伝説についてお話しします。

実はこのお店、名古屋市民の間では店舗によって味が違うと噂されています。

例えば、新幹線のの上り線と下り線では味が違う。とか、在来線ホームのかき揚げは揚げたてでおいしい。とか。

いずれも都市伝説として語られており、味が違うとの根拠はありませんが、みなさん名古屋へ行かれる際には、行きと帰りどで味を食べ比べてみてはいかがでしょうか?

ちなみに私のオススメは千種駅のかき揚げきしめんです♪(登智恵)

あいちトリエンナーレ2016
http://aichitriennale.jp/
テーマ:虹のキャラヴァンサライ 創造する人間の旅
会期:2016年8月11日(木・祝)～10月23日(日)
主な会場:愛知芸術文化センター、名古屋美術館、名古屋市内のまちなか、豊橋市内のまちなか、岡崎市内のまちなか

http://n.freemap.jp/tp/Aichi

参加者の声

刺激的な芸術祭でした。愛知県美術館では想像力をかきたてる作品が多く、鑑賞者が自分の解釈を創れるよう、サポーターのガイドツアーも工夫されているようでした。長者町は作品が点在していましたが、サポーターガイドの皆様のお陰で迷わず巡れてよかったです。来年のヨコトリ2017はこちらがガイドする側、はりきっていきましょう!(原田 貴己)

風刺センス満載の竹川宣彰、床に広がる大巻伸嗣や壁一面の佐々木愛の大作、豊橋会場ラウラ・リマの鳥小屋などに興味を覚えた。限られた時間と点在する会場のため、2日間2万7千歩動いたが、鑑賞できなかった作品が多々あるのが心残り。岡崎では地元の老夫婦と庭先のバナナの花の話題で思いがけぬ交流ができたのはこうしたツアーの醍醐味か。(満岡 重敏)

あいちトリサポーターも我々も「芸術祭を盛り上げよう」という組織の土台はきっと同じ。しかし蓋をあけると.....違いがあって面白かったです!ヨコトリ2014で交流した方々とも再会し、自分たちの活動が徐々に積み重なり、色々なところで繋がっているのを実感。活動のゴールは未知ですが、こんな繋がりをこれからも増やしていきたいと思いました!(平野 芳)

第3部はワールドカフェ形式で、与えられたお題についてテーブルに座ったメンバーで話し合います。まずは「芸術祭とは?」というお題が出されました。「サポーターとは?」というお題が出されたのは、自分たちの活動を改めて見直し、サポーターの原点に立ち返るワークシヨップだったと言えそうです。他のテーブルでもこのように意見が出たのかもしれないと、あいちトリエンナーレ2016芸術監督の港千尋氏が駆けつけ、3時間にもおよぶイベントでしたが、他のみなさんの活動をもっと詳しく聞きたい気持ちになりました。次回は横浜開催となります。準備を進めていきます。全国の芸術祭サポーターのみならず、来年は横浜でお会いしましょう!(木村)

ハマトリーツ!の活動紹介プレゼン



あいちのコミュニティ紹介



参加者レポート
全国各地で開催されている芸術祭。そのサポーターたちが一堂に会し交流する、その名も「全国芸術祭サポーターズミーティング」。2015年秋、水と土の芸術祭市民サポーターズ会議メンバーのネットワークの呼びかけで第1回が開催され、今年で2回目。あいちトリエンナーレサポーターの企画で、北は北海道から南は香川まで、80名ものサポーターが名古屋に集結しました。
プログラムは三部構成です。第1部は各団体の活動紹介。水と土の芸術祭、横浜トリエンナーレ、札幌国際芸術祭、さいたまトリエンナーレ、あいちトリエンナーレの5団体がプロジェクターを使って、それぞれに熱の入ったプレゼンを行いました。
第2部は愛知のコミュニティ紹介。テーブルごとに各団体の代表が座り、参加者はテーブルを回遊しながらそれぞれの活動を説明してもらいます。「あいち撮りカメラ部」や「名古屋スリパチ学会」、「ムビーカメラ部」や「名古屋スリパチ学会」(仮)、「なごり」など、過去多様な団体がありました。